

第3学年1組 学級活動（2）学習指導案

平成28年度 7月5日（火）第5校時
 児童数 34名（男子12名 女子22名）
 指導者 梅澤 郁枝
 場所 3年1組 教室

- 1 題材 「気持ちのよいあいさつをしよう」
 イ 基本的な生活習慣の形成 内容項目（2）

2 題材設定の理由

（1）児童の実態

本学級の児童は、全体的に明るく活発で元気がよく、仲良く学校生活を送っている。友達に親切に声を掛けられる優しい児童が多い。学級活動では、「にこにこ学級会」で1学期のクラス遊びやクラスの歌を話し合い、実践し、自主的実践的な活動を行い、児童の自己有用感が育まれるように指導してきた。クラスレクリエーションなどの取り組みでは、協力し合いながら楽しんで活動している児童が増えた。また、近くの人と自分の考えを共有し合う時間をとり、安心して自分の考えを伝えるような雰囲気作りをしてきた。少しずつクラス全員の前で発表したり、グループで相談したりできるようになってきた。しかし、あいさつとなると積極性に欠ける児童も多く、なかには教師からのあいさつを返すことができない児童もいる。

【事前アンケート（児童） 6/17（金） 実施人数34人】

1 自分のあいさつはどんなあいさつですか。ふりかえてみよう。 ① あいさつをしていますか。 はい 34人 いいえ 0人
② 気持ちのよいあいさつをしていますか。 はい 21人 いいえ 2人 わからない 11人
③ 元気（大きな明るい声）がありますか。 とてもある 10人 少しある 16人 まあまあある 8人 ない 0人
④ いつもしますか。 いつも 15人 ほとんど 15人 ときどき 4人 しない 0人
⑤ だれにしていますか。（複数回答） 近所の人 17人 スクールガードの人 23人 家族 28人 先生 28人 友達 28人 その他（ペット 4人 知らない人 4人）
⑥ 自分からしますか。 いつも 8人 ほとんど 13人 ときどき 13人 しない 0人
2 どんなあいさつをされたら気持ちがいいですか。（複数回答） ○明るいあいさつ （10人） ○顔（目）であいさつ （ 4人） ○元気で笑顔なあいさつ （24人） ○大きな声であいさつ （10人）

(3) 指導について

本題材の内容は、本学級の児童に共通した問題であるが、あいさつは生活の場において個々に実践されるものである。この題材を学級共通の問題として捉えることができるように事前にあいさつに関するアンケートを行う。アンケート結果を導入場面などに活用することで、一人一人が自分自身の問題として課題をつかむことができるようにする。また、保護者へのアンケートも実施し、保護者の願いも授業の中で生かしていく。

「気持ちのよいあいさつをしていますか。」という問いに対し、11人の児童が「分からない」と答えており、どんなあいさつがよいあいさつか分からない児童もいる。そこで本時の活動では、どんなあいさつが気持ちのよいあいさつなのかを、モデリングを通して考えさせる。さらに、ソーシャルスキルトレーニングを取り入れ、気持ちのよいあいさつを体験することで、心地よさを味わい、実践への意欲を高めていけるようにする。

具体的な目標が一人一人設定できるよう、ワークシートを工夫し、実践意欲が継続できるようにしていく。

3 研究主題との関わり

本校では、研究主題を「まごころをつくしあい、みんな仲よく、たゆまず学び続ける児童の育成」として研究を進めている。

本時は、人権教育上の課題を「人間関係」におき、話し合いを進めることで、友達と積極的に関わり、自己有用感を育むことで、人間関係の基礎を身につけさせたい。

【手立て①】 ペア学習やグループ学習を取り入れる。

どんなあいさつが気持ちのよいあいさつなのか考える際に、ペア学習やグループ学習を取り入れ、自分の意見を持たせ、友達の意見と交流し、自分の意見を深める。その際は、気持ちのよいあいさつを体験させ、実践への意欲を高める。

【手立て②】 互いのよさを認め合える振り返りを工夫する。

1週間の実践後、がんばりカードを用いて個々の努力を互いに認め合い、励まし合えるような振り返りを行う。ワークシートに「頑張っていた友達」「クラスの様子がどんなふうに変ったか」を設け、自分のことだけでなく、クラス全体のことにも目を向けられるようにする。帰りの会などで振り返りを行い、実践の継続化や日常化、共感的な人間関係づくりができるようにする。

【手立て③】 教師による励ましや評価

実践状況に応じて、個別に励ましや称賛、アドバイスを行う。目標が未達成であったり、共通の問題が解決できたと言える状態でなかったりしても、「努力した成果があった」「よい方向に向かっている」という見方や考え方を教師が大切にし、「努力することは大切」であることを教え、児童の自己指導能力を育みたい。

【手立て④】 保護者との連携

事前に保護者へのアンケートを実施し、保護者の思いや願いも授業の中で生かしていくことにより、学校と家庭が連携して、指導にあたれるようにする。

4 単元の目標

気持ちのよいあいさつについて理解を深め、具体的な行動目標を自己設定し、実践することができる。

5 指導と評価の計画

	学習活動	評価
事前	題材を知り、アンケートにこたえる。	【関心・意欲・態度】 学習課題について真剣に受け止め関心をもっている。
本時	課題について考え、自己目標を立てる。	【知識・理解】 【思考・判断・実践】

事後	自分の立てた目標を実践し、振り返る。	【思考・判断・実践】 自分の立てた目標を意識し進んで実践している。
----	--------------------	--------------------------------------

6 人権教育上のねらい（普遍的な課題「人間関係作り」）

互いに伝え合い、気持ちのよいあいさつについて理解を深め、実践することにより、人間関係の基礎的なことを身につける。

7 人権教育上の視点

- (1) 互いに伝え合い、分かり合うためのコミュニケーションの技能を高める。(技能)
- (2) 多様な考えを受け入れ、よりよい解決の仕方を探ろうとしている。(態度)

8 本時の目標

自分のあいさつの課題を見つけ、気持ちのよいあいさつについて理解を深め、自分に合った具体的な行動目標を設定することができる。

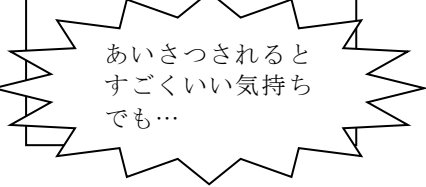
9 本時の展開

◎人権教育上の配慮

学習活動	学習内容	○指導上の留意点 ☆評価	時間
1 アンケートの結果を見て問題を把握する。 (意識化・共通化)	○アンケート結果やインタビュー、動画を見て気がついたことを発表する。 ・全員があいさつできている。 ・あいさつされると、すごくいい気持ちになって今日も一日頑張るぞって思える。 ・気持ちのよいあいさつができていない子や、わからない子もいる。 ・大きな声で言わないと相手に聞こえない。	○学級の共通の問題として捉えられるように、統計資料を活用する。 ○アンケート結果や動画、インタビューから実態を把握し、課題を共通理解する。あいさつの大切さにも気がつけるようにする。	8分
2 本時の題材を知る。		○題材を提示し、解決に向けての意欲化を図る。	2分
気持ちのよいあいさつをしよう！			
3 あいさつがなかなかできない理由、その時の気持ちを考える。 (原因追求)	○自分の経験から考える。 ・はずかしい ・めんどくさい ・いつしていいかわからない ・タイミングがわからない ・仲がよい人にしかできない	○あいさつについての資料を用意し、具体的に問題点を追求できるようにする。 ○あいさつすることが難しい児童に対して、共感する姿勢をもてるよう声をかける。	4分
4 「気持ちのよいあいさつ」について考える。 ①教師の3種類のあいさつを見て考える。	○「あいさつをかえさない」「下を向き元気のないあいさつ」「視線を合わせ、にこっとあいさつ」の演技して見せ、違いを考える。	○具体的な場面を考えることで、実践に結びつく活動を考えていけるようにする。	5分
②あいさつのポイントを考える。 ㊦相手の目を見て 明るく ㊧つも	○気持ちのよいあいさつについて確かめ、ペアで確認させる。上手にできている児童を皆の前で発表させ、ポイントをまとめる。	○自分のめあてを立てる際の参考にするように伝える。 ◎一人一人の意見を大切に似た意見が出たときは、まとめ、個々の意見を認め	16分

⑤ きに ⑥ 続けて (解決策)	○あいさつができない原因の解決方法を個人で考え、グループで話し合う。	る。(技能) ◎多様な考えを受け入れ、よりよい解決の仕方をさぐれるようにする。(態度)	
5 学習を振り返り自分に合っためあてを立てる。 (個別化)	○めあてを自己決定する。	○具体的なめあてを立てるように助言する。 ○必要に応じて見直し、修正する。	5分
6 目標を発表し合う。 (実践化)	○友達の発表を聞き、自分のめあてを再考する。	☆自分に合った具体的な行動目標を考え、設定している。【思考・判断・実践】	2分
7 実践への意欲を高める。	○クラスの歌を歌ったり、お家の人からのメッセージを聞く。	◎一人一人の意見を認め、賞賛し合うようにする。(技能) ○実践への意欲を高める。	3分

10 板書計画

アンケート結果	気持ちのよいあいさつをしよう！		
資料	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;"> あいさつがなかなかできない ・はずかしい ・めんどろ ・いつしていいのかな ・なかがよい人しかできない </td> <td style="width: 50%;"> 気持ちのよいあいさつ あ あいての目(顔)を見て い いつも さ さきに つ つづけて ゆう気を出して すぐに あい手に聞こえる大きな声で 一人たい大ぜいでも </td> </tr> </table>	あいさつがなかなかできない ・はずかしい ・めんどろ ・いつしていいのかな ・なかがよい人しかできない	気持ちのよいあいさつ あ あいての目(顔)を見て い いつも さ さきに つ つづけて ゆう気を出して すぐに あい手に聞こえる大きな声で 一人たい大ぜいでも
あいさつがなかなかできない ・はずかしい ・めんどろ ・いつしていいのかな ・なかがよい人しかできない	気持ちのよいあいさつ あ あいての目(顔)を見て い いつも さ さきに つ つづけて ゆう気を出して すぐに あい手に聞こえる大きな声で 一人たい大ぜいでも		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 自分のめあてを決めよう！ </div>		

あいさつされると
 すごくいい気持ち
 でも…



気持ちのよいあいさつをしよう

3年 組 () 名前

○あいさつがなかなかできない理由や気持ちを考えよう。

A large rounded rectangular box containing five horizontal lines for writing.

○気持ちのよいあいさつのポイントを考えよう。

〈自分の考え〉

〈友だちの考え〉



がんばりカード

年 組 名前








わたしがきめたためあて

○いつ

○どんなふうに

○何をする

自分の行動をふりかえろう（できたら色をぬろう）

7/6	7/7	7/8	7/11	7/12	7/13	7/14
						

行動をふりかえって、がんばることができたところ、よくなったところを書こう。

がんばっていた友達

クラスの様子（みんなの様子やふんいき）はどんなふうにかわりましたか。

先生から

授業の様子

